令和 3 年 1 月 15 日

2021 年経済見通し（世界銀行・ＯＥＣＤ・ＩＭＦ）【2021.1.5 時点】

○ 2021 年日本経済は回復するものの、2020 年の落ち込みの半分未満にとどまる

○ 基本見通しはワクチンの普及を前提としており、さらに下振れも

○ 北海道も緊急事態宣言の適用に備えた準備を

●世界経済見通し

（実質ＧＤＰ、年間の増減率%、ポイント）

公表機関	公表日		年次	世界	アメリカ	ユーロ圏	日本	中国
世界銀行	2020/6/8	前回	2020	-5.2	-6.1	-9.1	-6.1	1.0
			2021	4.2	4.0	4.5	2.5	6.9
	2021/1/5	今回	2020	-4.3	-3.6	-7.4	-5.3	2.0
			2021	4.0	3.5	3.6	2.5	7.9
		変化幅	2020	0.9	2.5	1.7	0.8	1.0
			2021	-0.2	-0.5	-0.9	0.0	1.0
ＯＥＣＤ	2020/9/16	前回	2020	-4.5	-3.8	-7.9	-5.8	1.8
			2021	5.0	4.0	5.1	1.5	8.0
	2020/12/1	今回	2020	-4.2	-3.7	-7.5	-5.3	1.8
			2021	4.2	3.2	3.6	2.3	8.0
		変化幅	2020	0.3	0.1	0.4	0.5	0.0
			2021	-0.8	-0.8	-1.5	0.8	0.0
ＩＭＦ	2020/6/24	前回	2020	-4.9	-8.0	-10.2	-5.8	1.0
			2021	5.4	4.5	6.0	2.4	8.2
	2020/10/13	今回	2020	-4.4	-4.3	-8.3	-5.3	1.9
			2021	5.2	3.1	5.2	2.3	8.2
		変化幅	2020	0.5	3.7	1.9	0.5	0.9
			2021	-0.2	-1.4	-0.8	-0.1	0.0

資料：世界銀行、ＯＥＣＤ、ＩＭＦ

●ベースシナリオ

世界銀行	新型コロナウイルス感染症の初期ワクチンが広く普及した場合
ＯＥＣＤ	感染の再拡大が抑制され、ワクチンが2021年末に向けて広く行き渡る可能性が期待される想定の下
ＩＭＦ	社会的距離の確保が2021年に入っても続くものの、ワクチン接種が広がり、治療法が改善するなかで徐々に解消していく想定の下

資料：世界銀行、ＯＥＣＤ、ＩＭＦ

（照会先）
株式会社　北海道二十一世紀総合研究所
（調査部　横浜、西尾）
電話　011-231-8681